



家庭学習の手引

(保護者用)

家庭学習は、学校で学習したことをしっかり身につけるために、また、自ら学ぶ習慣を身につけるために、とても大切なものです。小学生のうちに机に向かう習慣をつけることが、後々の学習に大きな影響を与えます。家庭学習の習慣づけへの道しるべを示すのは保護者の大切な役割です。

下記のことを参考に、家庭学習の習慣をしっかりと身につけさせていきましょう。

1 家庭学習の進め方

- ①学習は必ず机に向かってする。
- ②「宿題」を最初にする。
- ③時間に余裕があれば、「家庭学習のてびき」を参考に自主学習をする。
- ④家庭学習が終わったら、次の日の準備をする。

※「毎日、机に向かう」という気持ちが大切です。

高学年では自分に必要な学習を考えることも大切です。

2 家庭学習時間のめやす

10分×学年+10分

3 家庭学習における保護者の役割

①学習時間の確保を

遊び、塾、習い事、スポーツなど、お子さんたちもいろいろ忙しい毎日ですが、短い時間でも、毎日、机に向かう習慣を身につけさせましょう。お子さんと一緒に生活実態を整理して、学習に一番ふさわしい時間帯を充分話し合い、「何時から何時まで勉強する」という時間設定をしましょう。

②学ぶための環境作りを

テレビやラジオをつけながら勉強しても、効果は上がりません。お子さんが落ち着いた環境で学習できるよう、ご家庭で話し合ったり工夫したりしましょう。

③見届けと励ましを

お子さんが学習したことにできるだけ目を通し、声をかけてあげましょう。ご家族のほめ言葉や励ましが、お子さんのやる気の持続・向上に欠かせないものです。低学年のお子さんの場合は、そばにいて見守ってあげることで安心感を持って取り組めるようになります。